

DIGITABLE 第 106 回勉強会レポート

2017年6月17日 於：森下文化センター 第一研修室



動画入門講座②：動画を「撮る」

Photoshop 研究講座「可変 ND フィルターをテストする」：平野正志講師
希望者による“ライトニングトーク”
動画入門講座②：動画を「撮る」：高木大輔講師

DIGITABLE 写真技術研究会 (HOME) <http://www.digitable.info>

Digitable 研究講座「可変 ND フィルター」

：平野正志講師

■ ND の可変可能なものがあるということなので使用してみました。ND2-400 というもの、その濃度が可変であることで、薄い濃度でピントを合わせ、濃い濃度に変更することができるのは便利で使い勝手が良いのではないかと云う思いもあり、メーカー違いの 2 種を購入してみる。

国産の同種の可変 ND が 4 万円程度するのに比べこちらは中国製、2000 円であった



フィルターの回転で濃度が変化するのがわかる。

■ 写真では一見自然に可変しているように見えるが、カメラなしでフィルターを回転して覗いてみると、最大濃度に近づいた時点から明暗濃度にムラが目立つようになることに気付く。薄いところから最大に近くまでほとんどの部分では目で見えたムラは感じられないので、撮影してどうなるかテストしてみる。



回転すると濃度が上がるがムラも目立つようになる。

■ ケンコーフィルターの解説では「PL フィルターを 2 枚重ねてセットすると減光効果を得られることは以前から知られています。この仕組み上、通常の ND と比べて解像度の低下や色味の変化が発生し、市販されている安価帯可変 ND フィルターでは解像力が低下したり色ムラが発生するものがあります。」とあり、重ねた PL フィルターによりモアレのような状況が発生しているものと考えられます。

実際の撮影では濃度の濃いより効果の強い部分ほど悪影響があり、途中にも多少の影響はあるようですが、価格を考えれば仕方ないといったところ。



通常の PL フィルター

古い PL なので多少の色がつくのか、青みが増える傾向があるようだ。ND と違い濃度はほとんど変化しないが、PL の効果に応じて微妙にシャッタースピードが変化するのがわかる。反射の除去具合は流れにブレが加わるため、あまり顕著ではない。

参加者全員による「ライトニングトーク」

- IH 会員：夜景写真展を開催。f11/6sec
- SY 会員：Facebook の写真について
- EY 会員：スタジオオープンに向けての改造
- IF 会員：上川村への撮影行
- YM 会員：微笑ましいお子さんの写真作品
- AE 会員：iPhone5S での写真利用法 (800 万→ 1200 万画素)
- TN 会員：「アイヌ、100 人のいま」宇井 眞紀子 (著)
- KC さん：写真展海中の花。オープンフラッシュによる作品作り
…etc.



幸村千佳良写真展「海中の花」

動画入門講座②：動画を「撮る」 高木大輔講師

■動画を撮るには

- ・ビデオカメラで撮る
- ・デジタル一眼で撮る
- ・スマホ、タブレットで撮る
- ・Web カメラやキャプチャーする

など、さまざまな方法があることについてお話しした。

今回はまず、動画を撮る専門機器であるビデオカメラの撮影機能について勉強し、それらを一眼レフでの機能と比較してみよう。

■ Handycam：コンシューマビデオカメラでの撮影

Handycam にしろ、NXCAM にしろズーム以外の項目はオート機構がついているが、カメラを使いこなして、思い通りの動画作品を撮るのがこの講座の目的であるから、当然マニュアル機能でこれらを思い通りに操作するのが目的になる。

まずズームはこのカメラの場合、上面の T/W ボタンで操作する。ズームレバーを軽く動かすとゆっくり、さらに押すと早くズームするが、動画ではあまり早いズームは見ての方が気持ち悪くなるので、基本的にはこのゆっくりしたズームの操作に慣れることが重要だ…

■ NXCAM：業務用ビデオカメラでの撮影

こちらは SONY の NXCAM NEX-EA50JH という機種だ。APS-C サイズの 1670 万画素大型イメージセンサーを持ち、SONY や Cari Zeiss の E マウントレンズが使用可能、一眼レフ動画にまけない絵作りが特徴だ。

このクラスになると基本的に三脚か肩のせでの使用になるが、大きさの割にはデジなどに比べると比重は軽いので (装備で約 3 kg) 撮影中はそう苦ではない。肩のせは業務用ビデオカメラの基本的撮影スタイルで、むしろ安定して操作もやりやすいメリットがある…

■一眼レフでの撮影

まずズームだが、デジタル一眼レフでは基本的に静止画同様、ズームリングを回してのマニュアルズームになる。またフォーカスも AF のままでは撮影中にピントを追ってギクシャク動いてしまったり、駆動音を拾ってしまいがちで、基本的にはピントを合わせたマニュアルフォーカスに切り替えての撮影となる…動画撮影中はこのようにいろいろな情報が表示される。何より使い慣れた一眼レフの操作系なのだから、長年静止画の作品づくりで使い慣れた皆さんには、大きなアドバンテージがあるのではないだろうか？

■スマホや iPad での動画撮影

こちらはさらにオート化した撮影になるので、やはり安定した撮影をするためのホルダー等がいろいろあるようで、これらの活用が動画の質を上げるポイントになる…

DIGITABLE 写真技術勉強会 不許複製 (C) Digtale.info. 20170617All Rights Reserved

動画撮影の技術要件

機能	調整方法	確認方法
ズーム (画角)	T/W リング/レバー	T/W リング/レバー
フォーカス (焦点)	AF/MF リング	ピーキング 拡大表示
ホワイトバランス (色温度)	WB/ATW	
露出 (光量)	アイリス (絞り) シャッタースピード ゲイン	ヒストグラム ゼブラ
音 声	入力切替 音声レベル調整	レベルメーター ヘッドホン



ゼブラ表示①輝度レベル 70 (IRE)



マニュアル使用が多くなるこのクラスになるとこれらのよく使う機能の項目ボタンが独立している



D7200 の動画撮影中のモニター表示